学会申し込み時の発表者および共同研究者の所属機関の記述方法について

従来、森林遺伝育種学会大会における発表者名、共同研究者名およびその所属機関名は登録者の皆様に任意の方法で登録して頂いておりました。この情報は学会大会要旨に印刷されるとともに、学会誌「森林遺伝育種」の補遺に学会大会の記録として掲載されています。これまで所属機関名の記述について明確なルールがなかったため、同一の機関が異なる名称で記述されている場合がありました。

発表要旨、補遺は皆様の発表内容や発表の事実を記録しておく重要なものであるため、この度、学会役員で大会参加者の所属機関の記載方法を統一化するためのルールを作成しました。大会参加者の皆様にはお手数ではあるのですが、大会申し込み時に、後述のルールに従い、別紙の所属略称リスト（Syozoku\_Ryakusyou\_List\_FGTB2024.xlsx）の略称欄より、所属機関名を抜き出して、使用していただきたいと考えています。大会発表の適切な記録のために、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

所属機関名称記入時のルール

〇学会発表を申し込む際は、発表者及び共同研究者ごとに、氏名直後の括弧内に所属略称リストに記載された略称で所属機関を記述する。

例：山林　守（○大院農）、森山育子（○○林研セ）、遺伝　護（○○林研セ）

〇複数の所属機関を記述する場合は括弧内に列挙する。

例：森林花子（〇大院農、○○林研セ）

〇退職者は「（元○○大農）」等として所属を記述できる。

〇略称リストは木材学会に準じて作成しているが、記載されていないものについては、なるべく短く、一般的に使用される略称とする（東大、京大、秋田県大など）

〇大学院は「院」とする。

〇学部・研究科名を原則入れるが、１学部のみの大学の場合は不要とする。

〇学部・研究科名の「学」や「科学」以降を略す。

〇英語表記の大学名は公式の略称を用いる。

〇英語表記の場合は、学部・研究科名は省略する。

〇英語表記で、アルファベットの頭文字による略称の場合は、国名を入れる。

（例：Forest Tree Breeding Center, Forestry and Forest Products Research Institute

→ FTBC, FFPRI, Japan）

〇所属略称リストに記載のない場合は、上記ルールに準拠して各自で略称を記載する。

以上の内容について不明な点がございましたら、「fgtb-accounting@ml.affrc.go.jp」(学会担当窓口：企画・表彰担当)までご連絡ください。

よろしくお願いいたします。

2024年９月